

事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部 治山課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	治山課長 西川 貢 (太田雄一郎)	内線	4128 (4132)
--------------	-----------	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	治山事業	事業名	事業区間	総事業費	7.9億円	
		地域防災対策総合治山事業	生田川 流域	内用地補償費	- 千円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
神戸市 中央区 ほか				H18	H18	H22
事業目的			事業内容			
<p>本事業は、荒廃した山地が存する一定地域において山地災害を未然に防止し、生活環境基盤の整備に資するために行う総合的な山地災害危険地対策である。当該事業地の六甲山系は、阪神間の人口密集地の背後地であり、過去から度々土砂災害に見舞われている。このため、森林の有する公益的機能を高度に発揮させ、市街地を保全することを目的に、事業を実施する。</p>			<p>深間工（治山ダム工） 15基 7.50億円 森林整備（本数調整伐・枝落し等） 70ha 0.35億円 （国50%、県50%）</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>当該事業地は、下流に布引貯水池や神戸市中心部の市街地を控えており、山地は非常に急峻な地形を成しているうえ断層破碎帯が多く、地区の大部分は深層風化を受けた花崗岩から形成され脆弱で、過去から幾度もの土砂災害が発生している。このため、これまでも住民の安全・安心を目的とした谷止工の設置、山腹工の施工及び森林の公益的機能を高度に発揮させる森林の造成・整備を行ってきたが、引き続き六甲山系の管理・整備を実施していく必要がある。</p> <p>当該事業は、全体計画のうち各年度の事業計画を定めて計画的に行うものであり、地元市からの強い要望もあって事業の必要性は高い。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>当該事業の費用便益比はB/C = 1.33となっており、高い事業効果が期待できる。</p> <p>また、施行地の大半が土砂流出防備保安林や水源かん養保安林であるため、治山事業による施行が適切である。</p> <p>地元市の協力はもちろんのこと、事業施行地の土地所有者の承諾も確実である。</p>					
(3)環境適合性	<p>事業の実施に当たっては、間伐木を利用した木柵工（等高線状に並べて配置する）の施工により林内表土の安定を図るなど、間伐材を積極的に使用した景観・環境の維持に重点をおいた工法を用いる。また、治山ダム工施工地には広葉樹植栽により多様な植生の創出を計画しており、自然環境の保全とともに緑豊かな生活環境の整備に配慮した事業である。</p>					
(4)優先性	<p>渓流における土砂侵食や不安定土石の堆積、森林内表土の流出が進んでおり、土砂災害の発生の恐れが非常に高まってきている。人口密集地における県民の生命・財産を山腹崩壊や土砂流出等の土砂災害の危険性から守るため、計画的な対策を実施する必要があり、優先性は極めて高い。</p>					